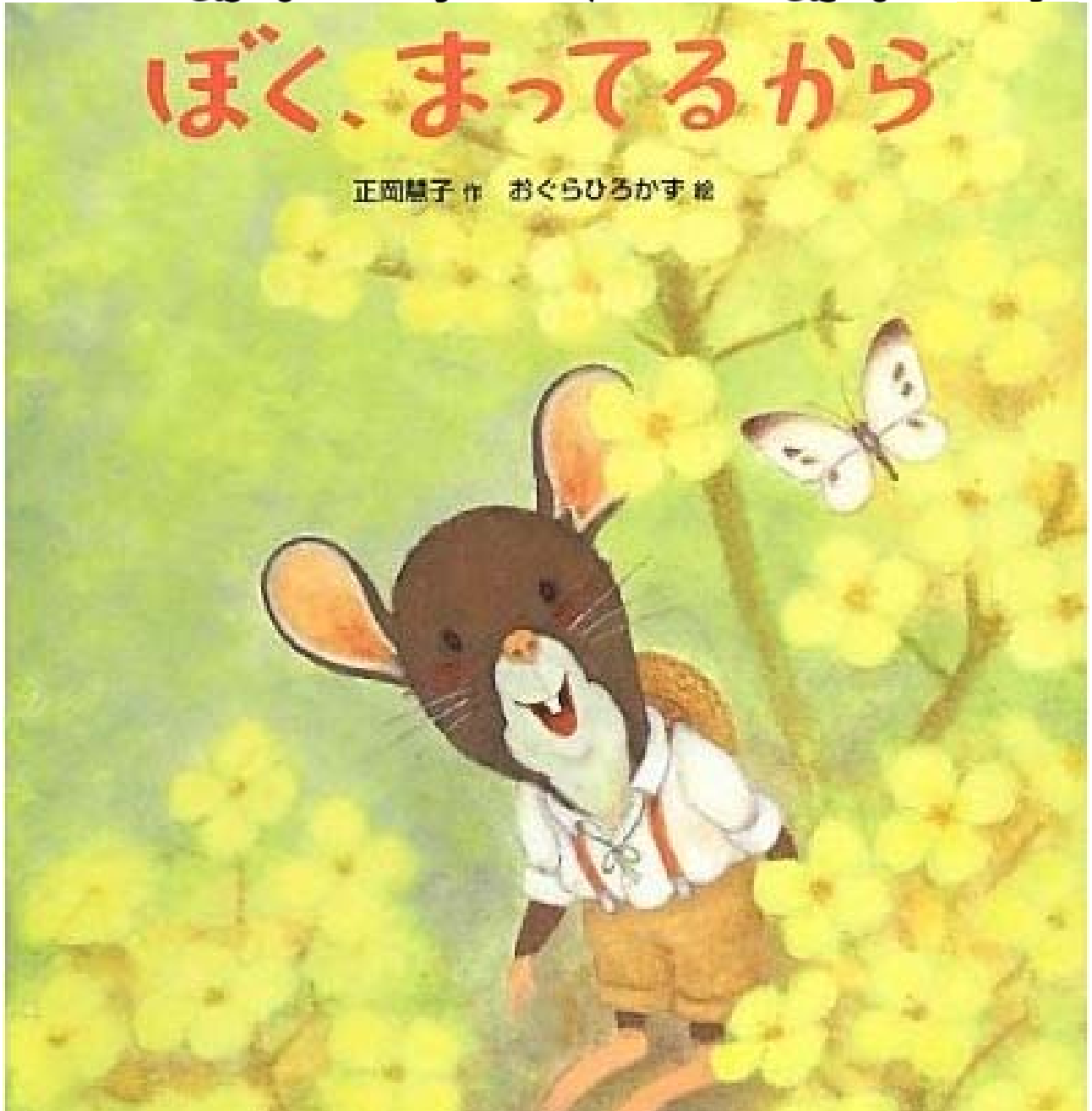


2013ねん4がつごう No.48いながわちようりつとしよかん

〒666-0257 いながわちようしろがね1-74-16 ☎072-766-3238 <http://www5.town.inagawa.hyogo.jp/>

しずくつうしん

FOR
KID'S



「ぼく、まってるから」 正岡 慧子 作・おぐら ひろかず 絵 (フレーベル館) [えほん]

ねずみくんとくまくんはともだち。

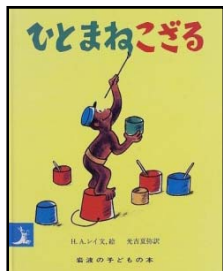
はる、なつ、あきとなかよくすごしていましたが、ふゆになりくまくんは冬眠^{とうみん}してしまいました。さみしくてしょんぼりしていたねずみくんでしたが、くまくんのことをかんがえていたらしいことをおもいつきました。さあ、めがさめたときくまくんはよろこんでくれるかな？

おとうさん おかあさんもよんでいた



としょかんにならんでいるたくさんのえほん。そのなかにはおとうさん、おかあさんがこどもだったころから（もしかしたらおじいちゃん、おばあちゃんも！）よみつかれているえほんもたくさんあります。としょかんではみんなからながく愛されているえほんを「こどもの読書週間（4月23日～5月12日）」のあいだ展示します。おうちのひとといっしょにみると楽しいかも☆しってるえほんをいっしょにさがしてみてね！

「ひとまねこざる」H・A・レイ (岩波書店)



★このえほんがはじめて日本で出版されたのは1954年。今から59年前のことです。

テレビでもおなじみの「おさるのジョージ」。こうきしんいっぱいジョージは、どうぶつえんをとびだして、さあどこへいくのでしょうか？
ジョージのいたずらにハラハラドキドキしますよ。

「ぐりとぐら」中川李枝子（福音館書店）



「ぼくらのなまえはぐりとぐら
このよでいちばんすきなのは
おりょうりすること たべること」
さあ、ぐりとぐらはもりでひろったおおきなたまごでなにをつくるのでしょうか？



★このえほんがはじめて日本で出版されたのは1967年。今から46年前のことです。

「はらぺこあおむし」エリック・カール（偕成社）

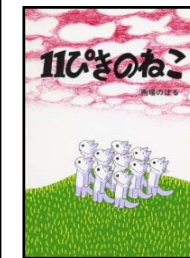


はらぺこあおむしはくいしんぼ。
いろいろなものをたべますが
ついにおなかがいなくなってしまいます。
ぶじ、ちょうちょになれるのかな？



★このえほんがはじめて日本で出版されたのは1976年。今から37年前のことです。

「11ぴきのねこ」馬場のぼる 作 (こぐま社)



★このえほんがはじめて日本で出版されたのは1967年。今から46年前のことです。

いつもおなかがぺこぺこの11ぴきのねこ。ちいさいさかなではまんぞくできない！
かいぶつのようなおおきなさかなをもとめて、やまのむこうのみずうみへしゅっぱつします。

こどもの読書週間・子ども読書の日ってなあに？

子どもたちにもっと本を！とのねがいから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。

ちいさいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。そのために「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。



4 がつのカレンダー

★図書館は 10 じ～6 じ まであいています★

にちようび	げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび
	1 図書館は お休みです	2	3	4 資料点検日 (図書館は お休みです)	5	6
7	8 図書館は お休みです	9	10	11 11:00～ ぐるんぼの 絵本の時間	12	13 11:00～ やまぼとの おはなし おはなし
14	15 図書館は お休みです	16	17	18 11:00～ ぐるんぼの 絵本の時間	19	20 11:00～ おはなし会
21	22 図書館は お休みです	23	24	25 11:00～ ぐるんぼの 絵本の時間	26	27 11:00～ ゆめっこ劇場 「ポテト」のか みしばい (図書 館ロビー)
28	29 祝日開館 (昭和の日)	30 図書館は お休みです (振替休日)	 マークの日は行事があります。 もうしこみ・お金はいりません。 *「ゆめっこ劇場」以外「おはなしのへや」です。			

資料点検日には、図書館を開けてみんなが図書館を使いやすいように本を整理したり、ならべかえたりしています。

4月の豆ちしき

◆花祭◆

お釈迦さまのうまれた日を祝い、さまざまなお寺でまつりがおこなわれます。日本ではもともと旧暦4月8日におこなわれていたので、新暦になったいまでも4月8日におこなわれることがおおいようです。お釈迦さまがうまれたとき、天から竜が甘露(きよらかな水)をふらせたという伝説から、花でかざったお堂の中に、うまれたばかりのお釈迦さまの像をおいて、甘茶や香水をそそぎます。

甘茶とはアマチャまたはアマチャツルの葉をせんじてつくったほんのりと甘いのみものです。甘茶をのむと、災いをはらうことができるといわれています。

